

千代中の 育座之器

《学校だより》 第8号

令和8年2月19日発行

小田原市立千代中学校

校長 中村 栄江

千代中の『キャリア教育』

中学校における「キャリア教育」は、1,999年の中央教育審議会答申にさかのぼります。社会の変化における様々な課題に対応し、社会人・職業人として自立していくことができるよう、自己の進路を主体的に選択、決定する力を身につけさせ、しっかりとした勤労観・職業観を形成することを目的としています。千代中学校では、総合的な学習の時間を中心とした3年間の学びを通し、目先の高校進学にのみとらわれることなく、一人ひとりが描くライフスタイルの実現に向け適切な進路選択ができるよう、計画的・系統的な指導をしています。

『生き方を考える』

自己理解

人生の先輩に学ぶ

地域を支える職業について理解する

1年

職業理解・職場体験

企業等の取組や職業について、調べ学習や体験を通して自分の考えをまとめる

2年

進路計画・進路決定

持続可能な社会のために職業における課題に気づき、社会の一員であることを考える

3年

1 学年 職業講話

2/10(火)にキャリア教育の一環として職業講話を実施しました。地域の事業所の方を講師としてお招きし、働くことの意義や目的、生きがいや苦勞などを伺いました。職業観の育成とともに、将来の目標を考えるきっかけとなりました。

生徒にとって、教員以外の大人との関わりから学ぶ体験は大変貴重です。ご多用の中、ご来校くださった講師の皆様、ありがとうございました。

ご協力くださった事情所の皆様

小田原警察署

小田原消防署

上府中保育園

10decades

日本新薬

スウィートベリー

JA かながわ西湘 成田支店



実物の防刃ベスト、手錠、警棒に触れる体験もありました。

生徒ワークシートから

講話から考えたこと、学んだこと



今の私たちの生活は、この地域の様々な職業の人たちにより支えられており、職種によってやりがい、生きがいも違う。また、様々な資格が必要であり、その資格を得るためにはたくさんの努力が必要だ。自分がなりたい仕事に就くには、たくさんの苦勞と努力が必要だ。また、地域のインフラや経済を支える組織があることも学んだ。

職業によって資格が必要だったり、求められる技術も違ってくるけど、どの職業にもお客さんに喜んでもらえたり、うれしい気持ちになってもらえるとやりがいを感じたりするのは一緒だ。みんなそれぞれの仕事にやりがいや誇りを持っているんだなと感じた。

今回の講話で自分がやりがいをもって働ける仕事に就けるよう頑張りたいです。

「特別な才能はいらない。大切なのは、人の話を聞くこと、相手の気持ちを考えること、失敗しても続けられること。」という言葉が心に残りました。

